

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 11 月 24 日 (2011.11.24)

【公開番号】特開 2010-171811 (P2010-171811A)

【公開日】平成 22 年 8 月 5 日 (2010.8.5)

【年通号数】公開・登録公報 2010-031

【出願番号】特願 2009-13391 (P2009-13391)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/335 (2011.01)

H 0 4 N 5/235 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/335 P

H 0 4 N 5/335 E

H 0 4 N 5/235

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 10 月 5 日 (2011.10.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被写体像を撮像する撮像素子と、

蛍光灯の明滅周期の整数倍の蓄積時間で前記撮像素子で撮像した補助画像と、前記蛍光灯の明滅周期に制限されない蓄積時間で前記撮像素子で撮像した本画像とを生成する撮像手段と、

前記補助画像の蓄積時間と前記本画像の蓄積時間の大小関係に基づいて、前記撮像素子の露出制御を行う露出制御手段と、

前記露出制御手段により制御された露出で撮像された前記補助画像と前記本画像を比較することにより、前記本画像に現れる前記蛍光灯によるフリッカの補正を行なうフリッカ補正手段と、

を備えることを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記露出制御手段は、前記補助画像の蓄積時間と前記本画像の蓄積時間の大小関係に基づいて、前記露出制御のための評価値を取得する画像を切り替えることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記露出制御手段は、前記補助画像の蓄積時間と前記本画像の蓄積時間の差分に応じて、前記露出制御の目標値を変更することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記露出制御手段は、前記補助画像の蓄積時間よりも前記本画像の蓄積時間が短くなり、且つ前記補助画像の蓄積時間と前記本画像の蓄積時間の差分が大きくなるにつれて、前記目標値を低く設定することを特徴とする請求項 3 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記撮像素子は、蓄積時間が独立して設定可能な複数の画素群を有し、所定期間内で蓄積時間の異なる画像を同時に取得可能であることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記撮像素子は、所定期間ごとに蓄積時間の異なる画像を順次取得することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 7】

画像を記憶する記憶手段をさらに備え、前記所定期間ごとに蓄積時間の異なる画像を記憶することを特徴とする請求項 6 に記載の撮像装置。